

地域社会との密接な連携を築こう

～地域とともに心豊かな生徒を育てよう～

豊橋市立東陵中学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は、豊橋市東部にある閑静な住宅街に位置している中学校である。小高い丘陵地に建つ校舎から西の方角を臨めば形原半島や三河湾、さらには、知多半島を見ることができる。また、すぐ東側には赤石山脈の南端の弓張山地が連なり、四季折々の姿を見せる。

本校は昨年度創立25周年を迎えた。395名の生徒数は創立当時より徐々に減少しているものの、一小一中の地域に支えられている生徒たちは心身ともに健やかに成長している。外国人居住者も多く、現在24名(全体の6.1%)の外国籍生徒が在籍するなど多様性豊かな学校である。

2 研究のねらい

本校では、学校スローガン「凜」を合言葉に、「思いやりの心」「たくましい体」「学ぶ意欲」を育てる生徒の姿とし、生命の尊重を基盤に、徳・体・知の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざしている。そこで、P T Aとして生徒が地域の方々と交流しながら協働できる場の設定などを通して、心豊かな生徒を育みたいと考えている。

3 研究の仮説

P T A・学校・地域が連携・協働してP T A活動を推進すれば、地域の中で健やかに育つ心豊かな生徒を育成する一助となるだろう。

4 研究の方法

P T A活動ならびに地域の関係諸団体と連携・協働しながら、地域の方々とふれあい、ともに活動する場を計画的に設定する。

5 研究の実践

(1) 資源回収

本年度から年2回(9月・12月)全校生徒とP T Aが協働して資源回収を実施している。生徒一人一人が地域の全世帯や事業所に案内チラシを配布し、段ボールや新聞紙、雑誌、牛乳パックを回収する。生徒たちは地域の各所に設けられた中集荷場所や公園に資源を運ぶ。そこではP T Aの委員が立ち、回収のサポートやコンテナ等への分別を行う。P T A役員も当日は午前中から地域の事業所や病院、介護施設等を回り、回収作業に汗を流した。協働する中で、生徒からは感謝の言葉が、地域やP T Aの方々からは労をねぎらう言葉が幾度となく交わされた。ともに活動することで、互いに寄り添い、理解しようとする心のつながりを強めたよい機会となった。



(2) 小中合同あいさつ運動

本校生活委員会と鷹丘小学校運営委員会、PTA、校区青少年健全委員会が合同で、年3回(6月、10月、1月)地域の交差点であいさつ運動をしている。登校する小中学生を中心に積極的に挨拶をする。この活動は地域の健全育成会の方ともつながれるよい機会となっている。交通指導員の田中さんは「だんだん挨拶の声も大きくなってきた。元気なあいさつを聴くと嬉しいし、こちらも元気をもたらえている。」とほほ笑みを浮かべる。PTA女性部長は「私たちから会釈をしながら挨拶をしましょう。」とPTA委員に声かけをした。単に元気な挨拶を促すのではなく、異年齢の地域の方々と協働しながら、積極的に挨拶を交わし合う活動を通して、地域への所属意識や愛着を高める活動となっていると考える。



(3) 小鷹野まつりでの青空演奏会

小鷹野神社の秋祭りで催される吹奏楽部による青空演奏会は、地域の多くの方々が大きな期待を寄せている。コロナ禍でここ数年中止が続いていたが、本年度はようやく演奏ができた。担当の渡辺さんからは「地域のお年寄りが楽しめる演歌も一曲演奏してほしい。」との要望もあり、天城越えや懐かしいYMOのライディーンを含め全6曲30分を超える迫力ある生演奏を披露した。吹奏楽部員は、少しでも地域の方々に楽しんでもらいたい、日頃の恩返しをしたいと、精一杯の演奏に努めた。このように、双方向の好循環を生み出す場を継続的に設定することで、地域の方々との心豊かなつながりを深めることができたと考える。



6 研究の考察

PTAと学校、地域の関係諸団体が連携・協働して活動することで、自然に会話と笑顔が生まれ、互いが歩み寄りながら目的を達成していくことができた。そうした活動を通して、生徒たちは異年齢の地域の方々の思いに触れることもできた。地域の方を楽しませたい、困っている時には役に立ちたいという思いを強めたり、自ら進んで行動したりする姿が見られるようになってきた。PTAと学校、地域の関係諸団体が連携・協働して活動に取り組むことは、単に生徒たちの活動をサポートするだけに留まらず、故郷鷹丘を愛し、さらにそこに暮らす方々への思いやりの心を耕し、進んで行動できる生徒の育成に有効であったと言える。

7 成果と今後の課題

生徒たちは地域の頼れる宝であり、地域の未来を担う貴重な人材である。例年はお年寄りだけで行っている公園の草刈りや落葉拾いを、本年度は生徒ボランティアが20名以上参加して、ともに汗を流した。10月には地域の秋祭りが2年ぶりに開催され、自然に囲まれた閑静な住宅地に号砲が鳴り響き、公園内は楽しみにしていた地域住民や生徒たちで埋め尽くされた。地域に根差した一小一中の東陵中学校は、PTAや地域の方々とのつながりに支えられ、安心感に包まれながら、地域に育てられている。今後は、学校と地域とのパイプ役として安心感のある絆づくりを推進しながら、心豊かな生徒の育成により一層努めていきたい。